

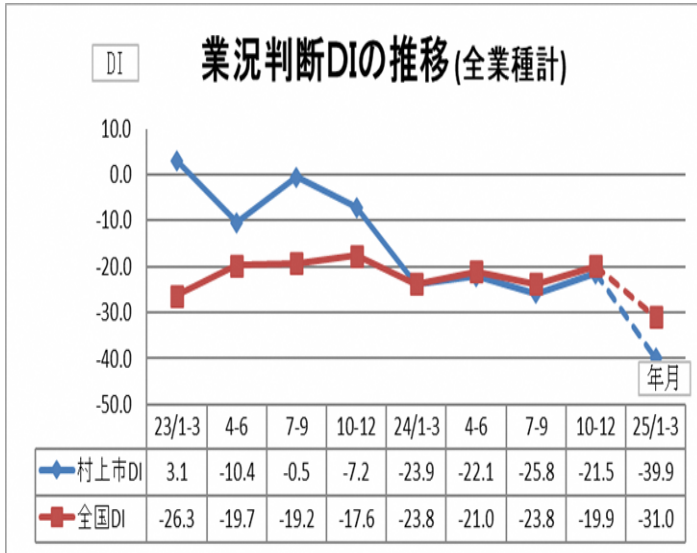


村上市 景況調査報告

＜令和6年10-12月期の実績・令和7年1-3月期の見通し＞

『回復基調にあるものの、さらなるコスト増で先行きは厳しい見方』

■村上市の業況(全業種計)

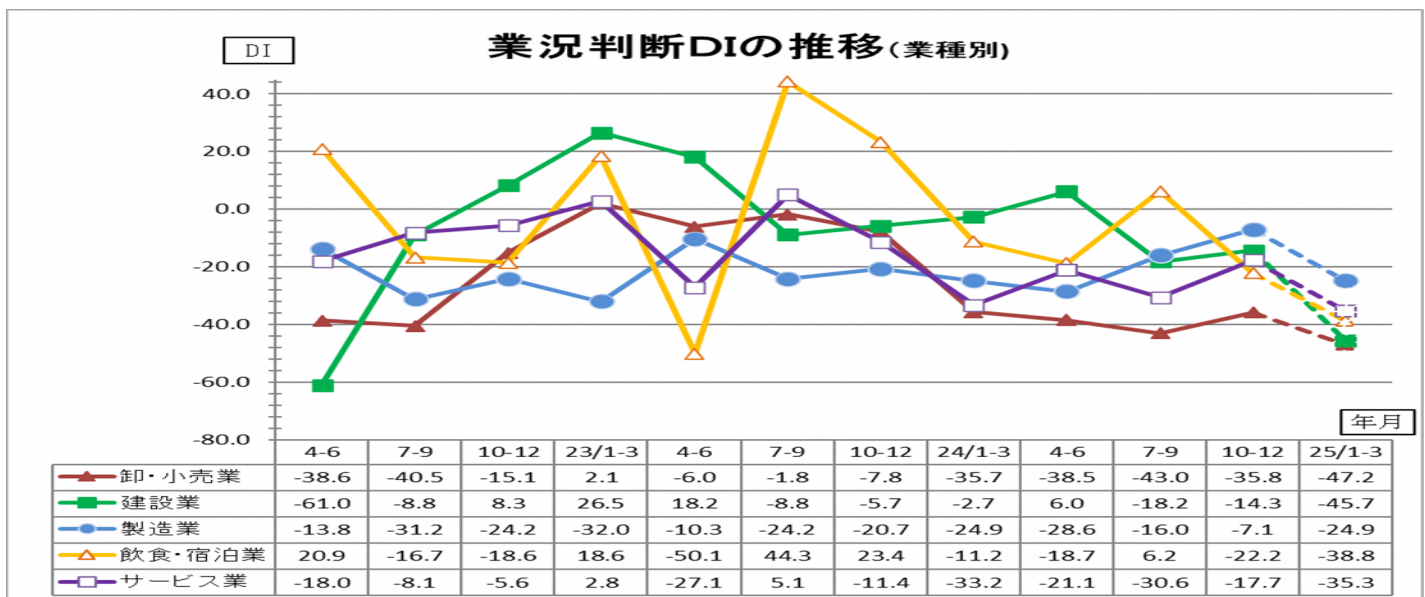


今期(10-12月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(7-9月期)と比べ4.3ポイント上昇し▲21.5となった。前期における今期予測(▲18.9)より2.6ポイント低下し、前年同月比では14.3ポイント低下した。全国DIは3.9ポイント上昇し▲19.9となった。

来期(1-3月期)については、18.4ポイント低下し▲39.9となる見通し。全国DIは11.1ポイント低下し▲31.0となる見通し。

業種別のDI値は飲食・宿泊業以外は改善しており、全体業種でのDI値も改善している。ただ、業種別のコメントでは原材料・エネルギー価格の高騰、賃上げによる人件費の増加に加え、人手不足による売上減とのコメントが目立つ。受注があるのに、人手不足という課題も残っている。

見通しとしては、全業種において引き続き、原価・エネルギー価格高騰・賃上げなどによるコストアップなどが不安視されている。

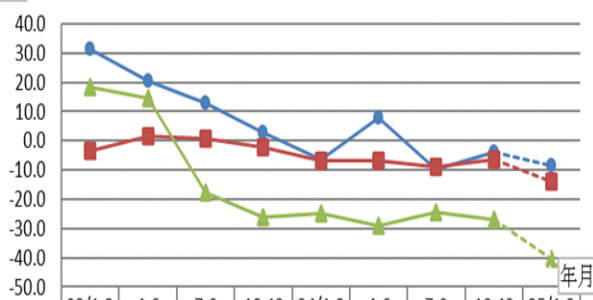


■業種別の動向

卸・小売業	建設業	製造業	飲食・宿泊業	サービス業
【実績】 ◆(茶)大臣賞受賞を契機に村上茶の知名度上昇。 ◆(パン)人手不足。 ◆(青果・惣菜)原価高騰。 ◆(家電)冬物商品が好調。 ◆(酒類・自動車・家具)消費者の節約志向が強まっている。 【見通し】 ◆(酒類)3月に値上げ予定あり4月以降は受注減予想。 ◆(化粧品)顧客への営業強化で売上アップが見込まれる。	【実績】 ◆(土木建築工事)人材不足により受注を伸ばせない。災害復旧工事が落ち着いた。 ◆(給排水設備工事)競争が激化している。 ◆(木造建築工事)国の窓リノベ事業によりリフォーム工事が好調。 【見通し】 ◆(建築板金)冬期は受注減少。 ◆(土木建築工事)軽油等の値上がりで収益が悪化。	【実績】 ◆(半導体)増産傾向。 ◆(菓子製造)売上高は増加している。 ◆(特産品)価格転嫁を実施した。 ◆(製材)住宅着工数の減少。 ◆(建具)受注が不安定。 ◆(金属製品製造)受注量はあるが納期が早く人手不足。 【見通し】 ◆(半導体)引き続き増産要求あり。 ◆(航空機関連)受注はあるが人手不足。	【実績】 ◆(飲食)売上は伸びているが水道光熱費や原価高騰(特に鮭)、賃上げにより利益圧迫。コロナ融資の返済が倍になり厳しい。 ◆(宿泊)夏場から価格転嫁を進め収益改善できた。 【見通し】 ◆(飲食)天候に左右される。 ◆(宿泊)閑散期のため悪化を見込んでいる。	【実績】 ◆(旅行)秋プランが好調。 ◆(クリーニング)燃料高騰で値上げが追い付かない。 ◆(印刷)年賀状売上減。 ◆(タクシー)運転手が休み稼働台数が減った。 【見通し】 ◆(タクシー)思ったより好天候で稼働減。 ◆(運送)燃料高騰・賃上げ・人手不足。

DI

売上DI(建設業除く)・受注DIの推移



	23/1-3	4-6	7-9	10-12	24/1-3	4-6	7-9	10-12	25/1-3
売上	31.2	20.6	13.0	3.0	-6.6	7.8	-9.8	-3.8	-8.4
売上全国DI	-3.6	1.4	0.8	-2.4	-7.0	-6.9	-9.1	-6.2	-13.9
受注	18.4	14.7	-17.7	-26.2	-25.0	-28.9	-24.6	-26.8	-40.4

今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、6.0ポイント上昇し▲3.8となった。前期における今期予測(▲15.8)より12.0ポイント上昇し、前年同月比では6.8ポイント低下した。全国DIは2.9ポイント上昇し▲6.2となった。

来期については、4.6ポイント低下し▲8.4となる見通し。全国DIは7.7ポイント低下し▲13.9となる見通し。

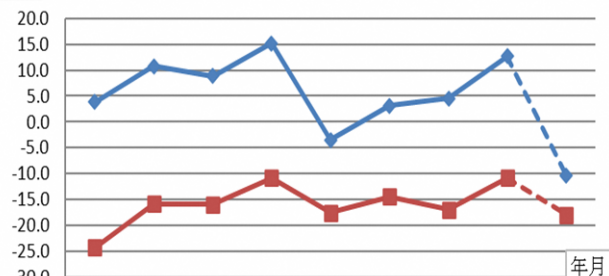
今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、2.2ポイント低下し▲26.8となった。前期における今期予測(▲19.3)より7.5ポイント低下し、前年同月比では0.6ポイント低下した。

来期については、13.6ポイント低下し▲40.4となる見通し。

【受注DIの内訳】 前期 今期 来期
・建設業 -33.4 -51.7 -62.5

DI

採算DIの推移(全業種計)



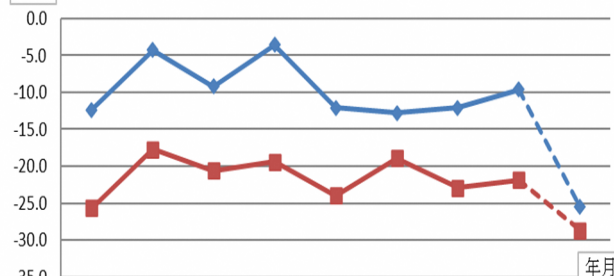
	23/1-3	4-6	7-9	10-12	24/1-3	4-6	7-9	10-12	25/1-3
村上市DI	3.8	10.8	8.9	15.2	-3.5	3.1	4.5	12.7	-10.4
全国DI	-24.3	-15.9	-16.0	-10.8	-17.6	-14.5	-17.0	-10.8	-18.0

今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、8.2ポイント上昇し12.7となった。前期における今期予測(5.8)より6.9ポイント上昇し、前年同月比では2.5ポイント低下した。全国DIは6.2ポイント上昇し▲10.8となった。

来期については、23.1ポイント低下し▲10.4となる見通し。全国DIは7.2ポイント低下し▲18.0となる見通し。

DI

資金繰りDIの推移(全業種計)



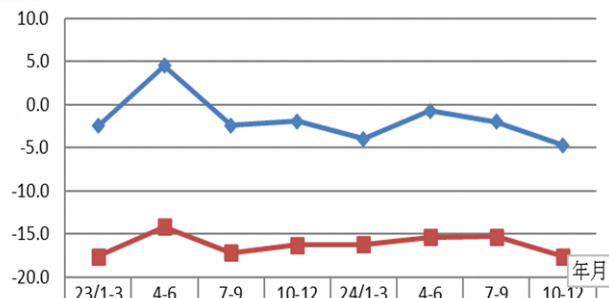
	23/1-3	4-6	7-9	10-12	24/1-3	4-6	7-9	10-12	25/1-3
村上市DI	-12.4	-4.3	-9.2	-3.6	-12.1	-12.8	-12.1	-9.6	-25.5
全国DI	-25.7	-17.7	-20.6	-19.4	-24.0	-18.9	-22.9	-21.9	-28.7

今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、2.5ポイント上昇し▲9.6となった。前期における今期予測(▲14.6)より5.0ポイント上昇し、前年同月比では6.0ポイント低下した。全国DIは1.0ポイント上昇し▲21.9となった。

来期については、15.9ポイント低下し▲25.5となる見通し。全国DIは6.8ポイント低下し▲28.7となる見通し。

DI

借入DIの推移(全業種計)



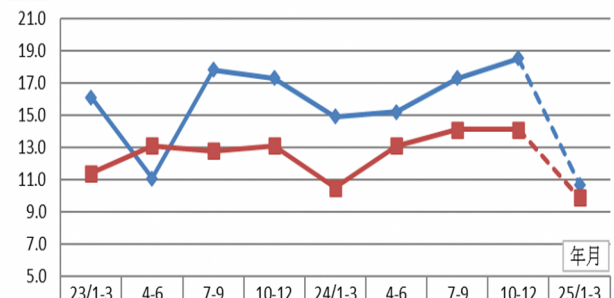
	23/1-3	4-6	7-9	10-12	24/1-3	4-6	7-9	10-12
村上市DI	-2.5	4.5	-2.4	-1.9	-4.0	-0.7	-2.0	-4.7
全国DI	-17.6	-14.2	-17.2	-16.3	-16.2	-15.4	-15.3	-17.6

今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、2.7ポイント低下し▲4.7となった。全国DIは2.3ポイント低下し▲17.6となった。

【借入DIの内訳】 前期 今期
・容易になった 2.5% → 1.8%
・変わらない 38.9% → 38.1%
・難しくなった 4.5% → 6.5%

DI

設備投資実施企業の割合(全業種計)

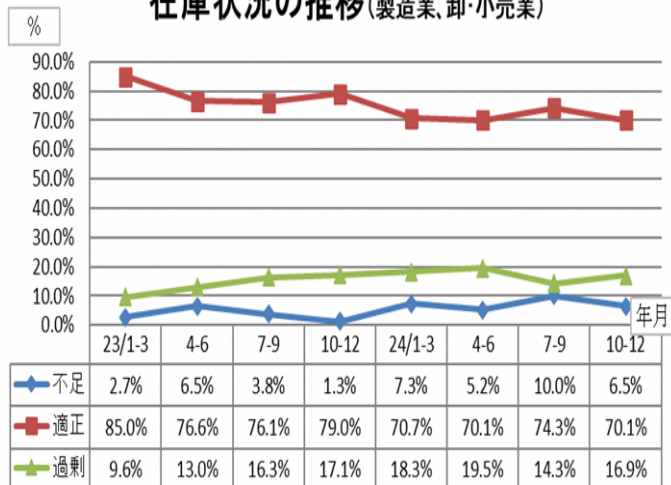


	23/1-3	4-6	7-9	10-12	24/1-3	4-6	7-9	10-12	25/1-3
村上市DI	16.1	11.1	17.8	17.3	14.9	15.2	17.3	18.5	10.7
全国DI	11.4	13.1	12.8	13.1	10.5	13.1	14.1	14.1	9.9

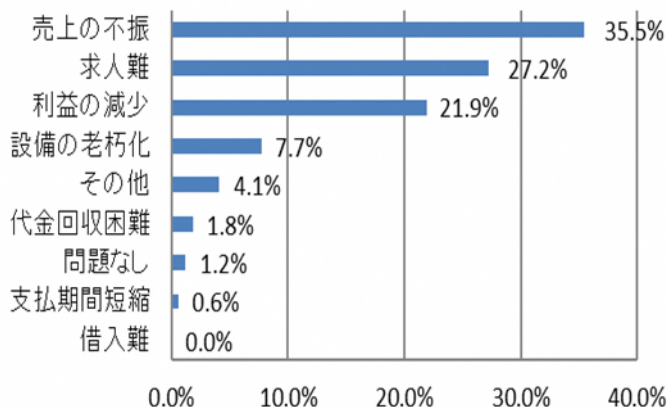
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、1.2ポイント上昇し18.5となった。前期における今期予測(14.2)より4.3ポイント上昇し、前年同月比では1.2ポイント上昇した。全国DIは前期から増減なしの14.1となった。

来期については、7.8ポイント低下し10.7となる見通し。全国DIは4.2ポイント低下し9.9となる見通し。

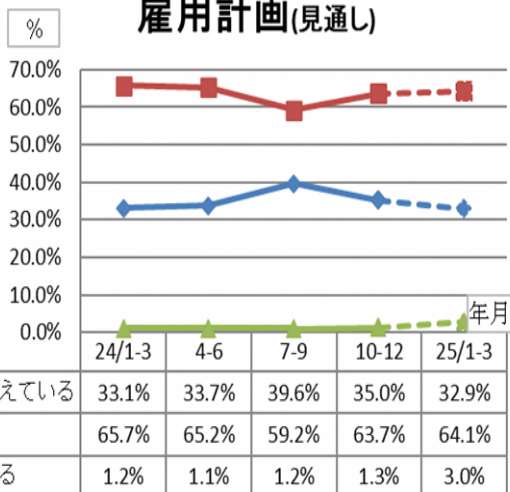
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



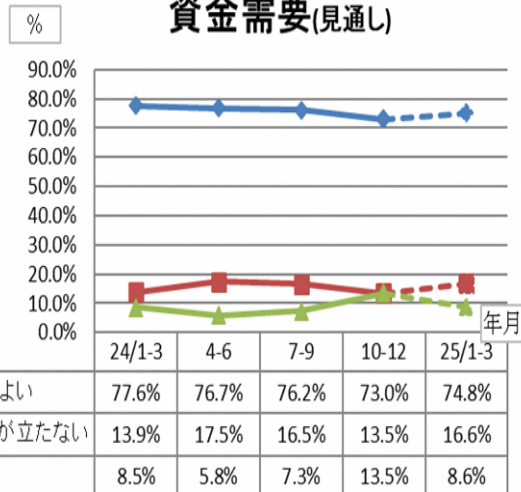
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



資金需要(見通し)

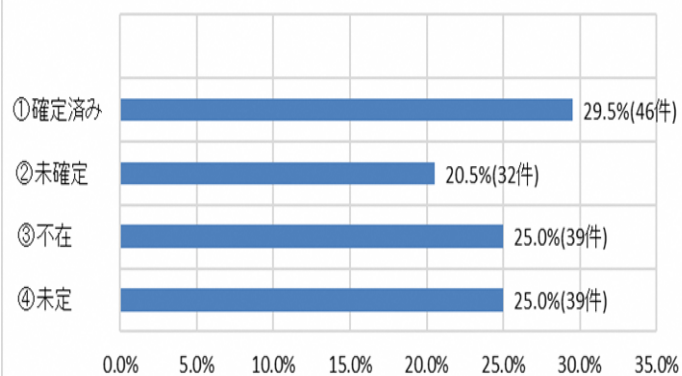


事業承継の状況と今後の予定について

後継者の状況について、①既に確定済み、②候補はあるが未確定、③後継者候補がない、④未定、から1つ教えてください。

左の設問で「①既に確定済み」と回答以外の方で、今後の経営について、1番近い考えを1つ教えてください。

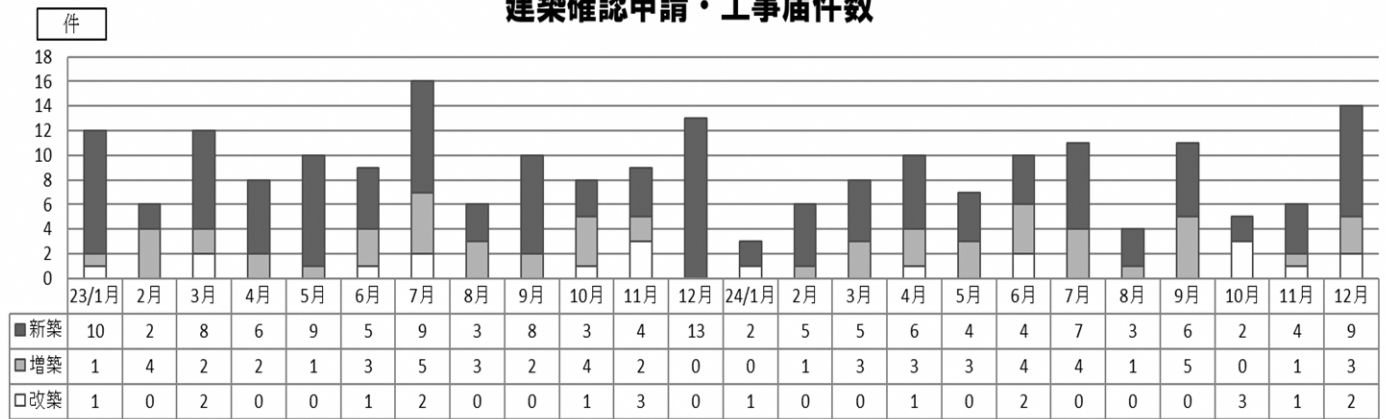
後継者の候補について



今後の経営について

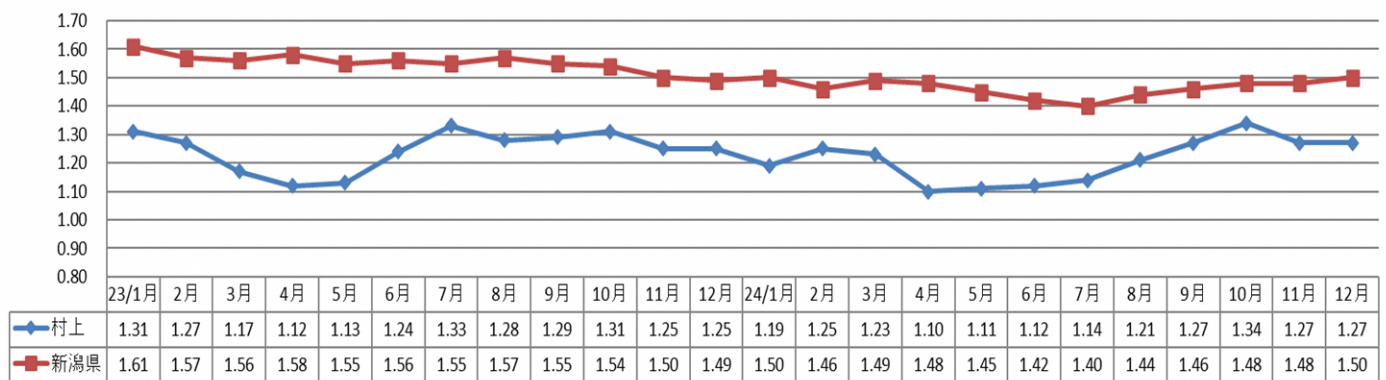
①息子や娘など親族に事業を譲りたい (親族内承継)	31.0%(31件)
②役員や従業員等に事業を譲りたい (従業員承継)	15.0%(15件)
③社外の第三者に事業を譲りたい (第三者承継)	8.0%(8件)
④事業を売却したい (M&A)	8.0%(8件)
⑤自分の代で廃業を考えている	21.0%(21件)
⑥その他	17.0%(17件)

建築確認申請・工事届件数



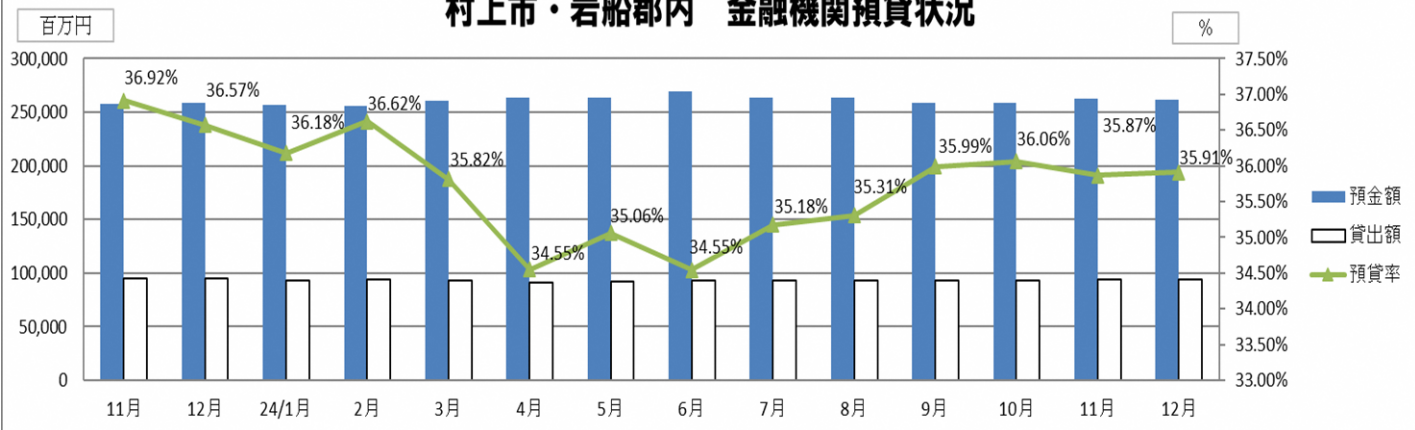
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2024年12月中旬～2025年1月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:170社(回収率85.0%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫
(全国DI)	〈2024.10-12実績・2025.1-3見通し〉

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)